



連盟は、登山が楽しく安全であるための活動のほか、「自然を尊ぶ心、ローインパクト登山」を唱え、丹沢をフィールドに山の環境保全活動にも取り組んでいます。

2017-7-8

◆フィールド・マナー

ローインパクト登山は、次のようなフィールド・マナーを心掛けることから始まります。

○周辺の自然や動植物を大切に○必要にして最小限の装備と最大限の活用○ゴミは持ち帰り、できるだけゴミを出さない○他のパーティなどに迷惑のかかる行為や危険な行動は禁止○トイレ・山小屋など施設の利用規則を守る○ケガや病気、万一の緊急時に対応できる心構えをもつ○登山計画の提出

◆山の自然セミナー

山岳自然の保護と利用についての学習を目的に、山の自然セミナーを開催しています。このセミナーには地域の自然環境の専門家を講師に招聘し、指導者・連盟会員のほか一般参加で行っています。



県職のレクチャーを拝聴

◆指導者育成

山岳の保護と利用をより良く進める目的で、公社) 日本山岳スポーツライミング協会公認自然保護指導員、環境省自然公園指導員(神奈川県山岳連盟推薦分)の育成を行っています。現在、前者 45 名、後者 33 名が活躍しています。



公社) 日本山岳・スポーツライミング協会公認自然保護指導員徽章

◆環境登山

神奈川県山岳連盟の創立 50 周年(平成 14 年)を記念して実施された清掃登山を環境登山と改称し活動を行っています。丹沢二ノ塔山腹(平成 29 年から三ノ塔山腹へ拡大)崩落などの裸地や荒廃地へケヤマハンノキなどの植栽を行い植生の回復を活動に行なっています。現在までに 700 本程が活着しています。



三ノ塔山腹での環境登山植樹の様子

◆丹沢大山クリンピア 21 活動

県民と行政の協働で行われている活動へ参加するため、加盟山岳協会や配下の山岳会のほか、指導者(自然保護指導員・公園指導員)の協力を得て、それぞれの単位で丹沢山塊各地のクリーン活動を展開しています。連盟の組織力で、この活動への参加を集約しています。



投棄物の回収の様子

◆森林づくりボランティア活動

丹沢大山の自然再生へ寄与することを願って、平成 21 年から清川村煤ヶ谷の水源地林を活動地にボランティア活動をスタートさせました。森林活動を通して、参加者の自然保護意識の啓発や自然体験活動だけでなく、環境面の社会貢献のひとつとして活動しています。活動地は約 8 ヘクタールほどの広大な土地ですが、典型的な里山林で、かつて薪炭用に植えられてコナラなどの広葉樹林(一部スギなどの針葉樹林)が鬱蒼と茂っています。



伐採木の搬出の様子

◆荒廃農耕地の整備ボランティア活動

チェーンソー作業の実習・技量向上を兼ね、秦野市曾屋の耕作放棄地の雑木除去のボランティア活動を行っています。旧造園植木の育成地で、直径 10cm、樹高約 5~10m 程度のマキやツバキが鬱蒼としています。



雑木の除去の様子

◆その他調査活動

登山者数カウンター調査や身近な水環境全国一斉調査などの諸調査活動も行っています。



左：登山者数調査、右：水調査

活動の開催など詳細情報は神奈川県山岳連盟ホームページから参照願います。

神奈川県山岳連盟ホームページ <http://www.kanagawa-gakuren.gr.jp/>